

TOYOTA GAZOO Racing

FESTIVAL

キッズ記者体験

記者：石原 蒼衣（小学5年生）

まず、脇阪選手にインタビューしました。

質問したこと

Q・・・ペアを組みたい人は、誰ですか？

A・・・平川選手です。今年最後のオートポリスの走りがすごかったからです。若い人と組んで、いろいろなことを学びたいと言っていました。（来年組めるといいですね）

Q・・・脇阪選手がレーサーになった理由は？

A・・・まわりが、かんきょうをつくってくれました。



本当はレーサーになろうと思っていなかったそうです。

Q・・・なぜレーサーを辞めないんですか？

A・・・負けたくないから続けています。

(頑張れ！おっさんレーサー！ by パパ 42 歳)

次は、平手選手の説明です。

乗っている車・・・RCF (GT500 海外産なので、左ハンドル)

ペアの選手・・・コバライネン選手

ドライバーが、変わるのにかかる時間・・・出て、別の選手が入ってシートベルトをつけるのにだいたい16秒(はやっ！)
左ハンドルに変わってあったこと・・・曲がるときに芝生の上走っていた。

ボタンを押す回数・・・1周にだいたい1、2回ぐらい。

車に積まれている水の量・・・500cc 位



質問したこと

Q・・・お父さんは、レーサーでしたか？

A・・・全く違う職業でした。

Q・・・1台どのくらいの値段ですか？

A・・・1台を開発して、作るのにだいたい10億円位です。

それをレーサーは、破壊しまくってる。(笑)

感想

レーサーのことや、車のことを知りました。

記者がとても大変なことも知りました。

レーサーさんは、みんなとても優しくかったです。

今回は、私にこんな体験をさせてくれてありがとうございました！

記者体験楽しかったです！

